

平成30年8月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「半導体等電子部品」などは減少したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが増加したことから、対前年同月比9.3%の増加となった。また、輸入額は「生ゴム」などは減少したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同51.5%の増加となった。

これにより差引額は、1,123億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	706億円	+9.3%	1,830億円	+51.5%	▲1,123億円	+100.1%
4カ月連続の増加			5カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	54億円	+50.2%	増加品目	(1) 原油及び粗油		960億円	+78.6%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	42億円	+74.8%		(2) 液化天然ガス		382億円	+35.5%
		(3) 有機化合物	59億円	+31.1%		(3) 石油製品		103億円	+185.1%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	11億円	▲60.1%	輸入	(1) 生ゴム		20億円	▲17.8%
		(2) 科学光学機器	30億円	▲22.5%		(2) 原動機		5億円	▲28.9%
		(3) 原動機	18億円	▲19.6%		(3) 鉄鋼		11億円	▲10.1%
	地域別動向				地域別動向	増加：中東、中東欧・ロシア等 など			
						減少：中南米 など			

（参考）ドルレートは、111.33円（前年同月比0.5%、0.56円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同月との比較による。